



矢立

時を守り、場を浄め、礼を正す

読書の秋

校長 佐藤 哲洋

2学期になって1か月余りが過ぎました。2学期の始まりに立てた目標の実現に向けて生活できているでしょうか。夏休みが終わっても暑い日が続き、皆さんも健康管理が大変だと思いますが、今日は、20日に矢立祭運動の部を開催します。始業式でお話した「五事を正す」（「貌：和やかな顔つきで人と接すること」「言：温かく思いやりのある言葉で話しかけること」「視：温かい眼差しで人や物を見ること」「聴：話す人の立場に立って相手の話をよく聞くこと」「思：まごころを込めて相手のことを思うこと」）を実践し、一中のチーム力を高めて取り組みましょう。また、健康に留意し、けが等にも十分気をつけて、1日、1時間、1分、1秒を大切に生活していきましょう。

さて、朝晩は気温も下がり、少しずつ秋めいてきました。過ごしやすくなる秋は、1年の中でも比較的活動しやすい季節です。「読書の秋」「スポーツの秋」「食欲の秋」と言われることは、皆さんも知っていると思います。今日は、その中で「読書の秋」についてお話しします。

先週、国語の授業で「ブックトーク」を実施しました。市民読書サポーターの方が授業で本の紹介をしてくださいました。一中では、毎年ブックトークを実施していますが、今回は主に昔話の語りと紹介をしてくださいました。私自身、遠い昔に読んだことや自分の子供に読み聞かせをしたことを思い出し、とても懐かしく思いました。市民サポーターの方々には私たちに本や読書の魅力を伝えてくださいましたが、令和3年の国立青少年教育振興機構の調査によると、「年代に関係なく本を読まない人」が増えているそうです。文部科学省の調査でも、1か月に一冊も本を読まない中学生は18.6%いるというデータもあります。逆に言えば、約80%の中学生は1か月に一冊は本を読んでいるということになりますが、皆さんはどうですか？一中ではブックトークの他に、読み聞かせや朝読書、モーニングライブラリー等の読書活動を、図書委員会を中心に行っています。一中で読書活動を継続しているのは、読書には、皆さんに身に付けてほしい資質・能力を育む上で必要な力を高める効果があると言われていますからです。現代社会を生きていくためには様々な力が必要であることは言うまでもありませんが、その土台となる読解力や思考力、表現力、想像力、集中力を、読書によって高めることができるのです。本を読むと、その内容から情景や登場人物の気持ちを想像したり、「自分だったら…」と、自分に置き換えて考えたりします。表現された言葉に心を打たれることもあると思いますし、本を読むことで得られる知識もあります。辛い時に勇気を与えてくれる本もあります。朝読書は、たった10分間ですが、本を読むことに没頭することで、集中する力を付けることができます。そう考えると、本を読むことは人生を豊かにすることに繋がっていると思います。

10月は矢立祭運動の部という大きな行事があります。でも、それだけではなく、日常の授業はいつものようにありますし、1・2年生は部活動の新人戦も始まっています。駅伝大会に向けて、毎朝練習している人もいます。3年生は進路決定に向けて、これまで以上に、学習に力をいれなければなりません。11月の文化の部の練習も始まっています。読書の時間はそれほどとれないかもしれませんが、時間にけじめをつけ、読書する時間も大切に力を付けてください。そして、充実した毎日を過ごしましょう。10月もよろしくお祈りします。

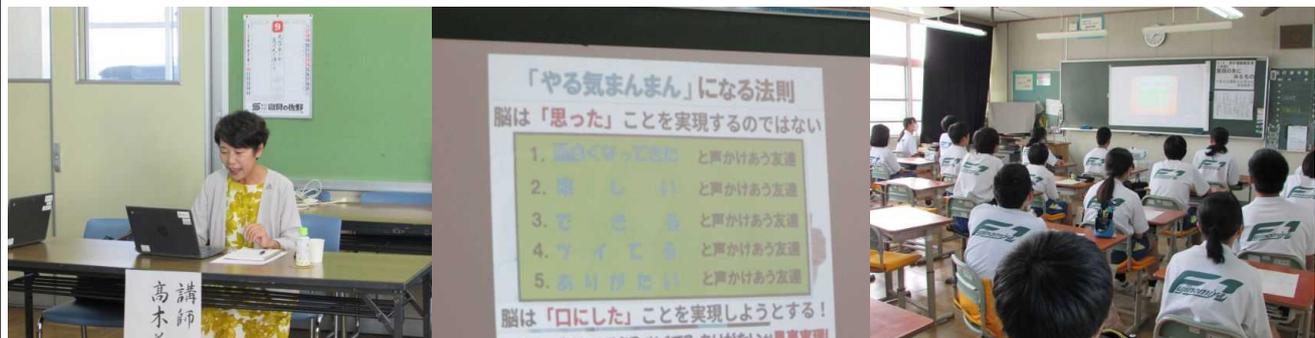
【10月3日 全校集会より】

学校保健委員会

9月8日(金)

『笑顔の先にあるもの～さらに元気ハツラツになるワザ』をテーマに、メンタルコーチの高木美香様を講師にお招きして学校保健委員会を行いました。前半は、保健委員会の生徒が、保護者や生徒のアンケートから、一中生の現状やる気の出る言葉について発表しました。後半は、高木先生の講演を聴き、「プラスの出力」でプラス思考、自分だけでなく誰かのために「他喜力」、「脳は口にした言葉を実現する」など前向きな気持ちをつくる具体的な方法を教えていただきました。

生徒からは、「今日からマイナス発言をプラス発言に変えていきたい」「不安な時こそワクワクの気持ちを持ち挑戦したい」などという感想が寄せられました。



生徒会選挙 9月22日(金)

2年生、1年生が中心となる生徒会本部のメンバーを決める演説会・選挙を行いました。どの候補者も、これからの一中をよりよくしていくための自分の考えを生徒に訴え、投票を呼びかけました。

矢立祭「文化の部」で引継ぎ式を行い、新生徒会がスタートします。



授業研修

岐阜大学の長倉守准教授に一中の授業を参観していただき、現在の教育のキーワードである「主体的・対話的で深い学び」の実現と子供たちの資質・能力を育むため、どのような授業改善をしていけば良いのか御示唆をいただきました。先生方も日々の授業を振り返り、より質の高い授業を目指し真剣に研修に取り組みました。



ブックトーク 9月26日(火)～29日(金)

富士宮市の市民読書サポーターの皆様によるブックトークを全クラスで行いました。

本の紹介や昔話など、本について興味深いお話を聞くことができ、改めて本の奥深さを学びました。

「秋の夜長」、少しの時間メディアから離れ、御家族でゆったりと読書のお時間などいかがでしょうか。



富士宮市不登校対策支援員

砂原田江子(すなはらたえこ)相談員が生徒や保護者の皆様の相談をお受けします。

一中へは毎週金曜の午後来校を予定しています。面談等ご希望の方は、担任又は教頭まで御連絡ください。

詳しくは、9月25日(月)に配布した案内を御覧ください。